



小林 夢奈さん
(上延生)

私が芳賀町に思うこと

私は、生まれてから現在に至るまでの20年間、この恵まれた環境にある芳賀町で生活してきました。そして、無事に成人式という社会人としての第一歩の日を迎えることができ、心より感謝しております。

芳賀町は、とても住み良い環境にあると感じています。特にそのように感じる瞬間は、都内へ出掛ける時です。皆さんも県外に足を運ぶことがあると思いますが、私は芳賀町へ戻ると、空気の良さや自然の多さにいつも安心する気持ちになります。

また、2022年に開業を目指しているLRTについてですが、芳賀町にも少子高齢化の波は少しずつ訪れており、LRTがこれからの芳賀町の中心となる交通機関となっていくと思います。LRTは、自家用車の有無にかかわらず「誰もが安心して移動できるコンパクトシティ」を実現し、迫り来る少子高齢化の波に対応できるとも期待しています。

これからも住み良い町で居続けることができるよう、更に最適な環境を整えていただけたらと思います。



齋藤 雅文さん
(八ツ木)

活気あふれる町づくり

大学に進学するまでの18年間、住みやすいこの芳賀町で過ごし、多くの方々に支えられ、無事成人を迎えることができました。現在、芳賀町には家族みんなで遊ぶ、買い物できるような施設が少なく、これからの芳賀町を支えていく若い人たちが芳賀町を離れて他の市町村に移住してしまったり、町外の方々が芳賀町に遊びに来ることが少ない状況ではないかと思えます。そこで、芳賀町には多くの方々に来ていただける、住んでいただける施設を誘致していただきたいと思えます。私自身も何か楽しみを求める際に遠くへ外出し、芳賀町の中で完結することがなかったので、町の中心を通る大きな道路も開通し交通量も増えた今、人々が楽しめる施設ができることによってより多くの人々が集まり、魅力ある芳賀町に近づくのではないかと思います。梨やイチゴなど食に魅力のある芳賀町がより人々で活気にあふれ暮らしやすい町になることを期待しております。



石井 瑞紀さん
(西水沼)

あいさつの町

私は大学に進学するまでの18年間、芳賀町で暮らしていました。今は一人暮らしをしていますが、その中で改めて気づいたことがあります。それは芳賀町のあいさつが素晴らしいということです。あいさつが素晴らしいといっても大人たちのあいさつではありません。子どもたちのあいさつです。芳賀町内の小中学校ではあいさつ運動が徹底していると思います。「三つ子の魂百まで」とあるように小さい頃に身についた習慣は大人になっても残ります。おはようございます、さようなら、ありがとう、どういたしまして、ごめんなさい。私の身近にいる大人は残念ながらこんな簡単なことができていません。私はそういう大人になりたくないなので、子どもの頃の習慣を忘れずにしっかりあいさつをしていこうと思います。